



新しい仲間を紹介します

サイエンスショー担当の学芸員補助スタッフ2名が、4月から活躍中です。

はじめまして、近藤雅子と申します。

私は子どもの頃に参加した科学イベントがとても楽しく、それがきっかけで科学に興味を持ちました。研修中に見学したサイエンスショーでは、そのときの気持ちを思い出すことができました。子どもの頃だけでなく大人になっても科学の面白さに心を奪われることを実感し、改めて科学の楽しさ・面白さを伝えられるサイエンスショーは素敵だなと思いました。担当するサイエンスショーでは、来てくれる子ども達と自分の子どもの頃が重なるので、少しでも科学に興味を持つきっかけになればとの思いを込めています。もちろん、大人の方にも子どもの頃を思い出してもらい、身近な生活の中の科学を楽しんでもらえれば幸いです。

科学館で仕事をすることで、サイエンスショーにはスタッフの方々の科学振興の思いがたくさん込められていることを知りました。私もスタッフの方々と同じ思いで、皆様に科学を楽しく学んでもらえるよう日々学びながら、思い出に残るようなサイエンスショーをつくっていきたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

こんどう・まさこ(科学館学芸員補助スタッフ)



はじめまして、山本直弥と申します。

私は物事を教えること(特に子どもに)と、実験をすることが大好きなので、以前からサイエンスショーに興味を持っていました。ですので、科学館がサイエンスショーの補助スタッフの募集をしていると知ったときは、すぐに飛びつきました。

実際にショーを行なってみて、難しいところや悩まされるところがたくさんあることに気がさせました。お客様にとってわかりやすい言い回し方や、退屈しないように考えてもらう問いかけをすることなど、挙げだしたらきりがありません。

でも、楽しいのも事実! 反応が思っていた以上に返ってきたときなどは、とてもうれしく感じます。日々のショーから少しずつでも改良し、より面白くしたいと考えております。お客様に科学の楽しさや、面白さを伝えられるようになるために、これからも頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

やまもと・なおや(科学館学芸員補助スタッフ)

